

## アルミノプロフェン 100mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1→2) 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 45 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45  $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 2mL を正確に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を加えて正確に 25mL とし、試料溶液とする。別にアルミノプロフェン標準品を酸化リン (V) を乾燥剤として 1 時間減圧乾燥し、その約 0.030g を精密に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 3mL を正確に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を対照とし、吸光度測定法により試験を行い、波長 245nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品の 45 分間の溶出率が 80%以上のときは適合とする。

アルミノプロフェン ( $C_{13}H_{17}NO_2$ ) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 337.5$$

$W_S$  : アルミノプロフェン標準品の量 (mg)

$C$  : 1 錠中のアルミノプロフェン ( $C_{13}H_{17}NO_2$ ) の表示量 (mg)

アルミノプロフェン標準品 日本薬局方外医薬品規格「アルミノプロフェン」。

## アルミノプロフェン 200mg 錠

溶出試験 本品1個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1→2) 900mL を用い、溶出試験法第2法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 30 分後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45  $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 2mL を正確に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を加えて正確に 50mL とし、試料溶液とする。別にアルミノプロフェン標準品を酸化リン (V) を乾燥剤として 1 時間減圧乾燥し、その約 0.030g を精密に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 3mL を正確に量り、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を加えて正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、0.05mol/L 水酸化ナトリウム試液を対照とし、吸光度測定法により試験を行い、波長 245nm における吸光度  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品の 30 分間の溶出率が 80% 以上のときは適合とする。

アルミノプロフェン ( $C_{13}H_{17}NO_2$ ) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 675$$

$W_S$  : アルミノプロフェン標準品の量 (mg)

$C$  : 1 錠中のアルミノプロフェン ( $C_{13}H_{17}NO_2$ ) の表示量 (mg)

アルミノプロフェン標準品 日本薬局方外医薬品規格「アルミノプロフェン」。